

## こたまコラム (矢作新報社への寄稿内容)

残暑厳しい日々が続いておりますが、皆様にかかれましては如何お過ごしでしょうか。

さて、皆様にとっては早い様に感じられるかも知れませんが、県では来年度に向けた予算編成作業が始まりつつあり、私が所属しております民進党愛知県議員団では、このタイミングでの県への政策予算要望の提出に向け、現在は各部会に分かれ、提言内容の取り纏め作業の大詰めを迎えております。

私は今年度、農林水産委員会に所属している事から、主に農林水産分野の提言内容を担当しておりますが、愛知県産物のブランド化や6次産業化の推進、更には農業後継者の育成や森林資源の活用などについて、現状と課題等を分析しつつ、提言内容に盛り込む予定であります。

その中でも、特に愛知県産農林水産物のブランド化については、うなぎや名古屋コーチンをはじめ、抹茶・あさりなどの全国トップレベルのブランド力を持ち、農業産出額でも全国上位に位置する農業県であるにも関わらず、産出額等が全国上位や、特徴・品質がトップレベルにある品目でも、知名度が必ずしも高くない農林水産物も多数あるため、これらのブランド化を推進することにより、本県産農林水産物の競争力を更に高めていく必要があります。

その為にも、現在県が推し進めております「いいともあいちブランド力強化事業」や、「あいちの農林水産フェア」を通じて、各市町村との連携による農林水産物主要品目のブランドイメージの構築に努めると共に、首都圏をはじめとする大都市圏のみならず、アジア圏を中心とした海外に向けても、愛知県産の農林水産品を広くPRを行い、販売ルートの拡充に向けた政策が積極的に取り組まれるよう、県に強く働きかけてまいります。



愛知県議会議員

こたま よしかず

樹神 義和 